

## 小樽運河研究講座開設趣意書

## 小樽運河研究講座

開設期間 昭和53年11月上旬～昭和54年1月下旬

開設場所 メリーズ フィッシュマーケット

小樽市堺町6-5 ☎ 32-5916

小樽は北海道開拓史において重要な役割を果たした古く歴史のあるまちです。特に、明治・大正期には本道の商業・経済をリードするほどの繁栄を示し、幾多の人材も輩出されました。しかし、戦後諸条件の変化により、まちの趨勢は停滞し、「斜陽」の名を冠せられて久しいものがあります。

そのなかで、都市問題の矛盾も生じ、その問題の解決が将来のまちのあり方を決定するような重要な時期に現在さしかかっているといえます。特に運河をとりまく諸問題は、小樽の経済・文化・市民生活全般にかかわる重要な問題であると考えられます。

しかし、現在その問題に対して十分な研究・理解の場が設けられていないのが現状です。ここで、問題の原点にたちかえり、総合的視野から問題に検討を加えることが必要であると考えられます。

そこで私達は、行政・経済・文化・都市 etc から専門家をむかえ、市民をまじえた総合的な学習研究の場を設けようとするものであります。そのなかで、問題点が総合的に浮き彫りにされ、必ずや新しい「運河学」ともいべき指針が生みだされるものと考えます。

運河問題は深くけわしく、その解決の道は平坦でないと考えられますが、本講座が問題解決の一步になれば幸いです。

つきましては、皆様の深い御理解・御援助を御願ひ申しあげる次第です。

小樽運河研究講座準備委員会（仮称）

代表 渡 辺 真 一 郎

小樽市稲穂2-6-8 渡辺歯科

☎ 22-4948

### 講義内容予定

運河の形成と歴史	都市内交通の問題とその解決
石造倉庫群と近代様式建築	地域開発と地場産業
運河文学史	都市と港湾整備
運河をめぐる映像・絵画	河川浄化と都市の緑化
日本における町並み保存の歴史	生活環境整備とまちづくり
町並み保存の制度と事業	観光開発と都市計画
地域開発と行政の役割	まちづくりと市民運動

### 講師予定（文渉中）

矢 島 建	（宅地開発研究所・地域計画）
田 村 明	（横浜市企画調整局長・都市計画）
田 中 公 雄	（東京都都市計画局・交通計画）
重 村 力	（神戸大学専任講師・生活環境計画）
足 達 富士夫	（北海道大学教授・住居地計画）
越 野 武	（北海道大学助教授・建築史）
神 山 桂 一	（北海道大学教授・衛生工学）
竹 山 実	（武蔵野美術大学教授・建築計画）
小 林 俊 彦	（南木曾町観光課長）
浦 辺 鎮太郎	（浦辺建築事務所所長）
奥 田 道 大	（立教大学教授・社会学）
国 松 明日香	（画 家）
山 田 洋 次	（映画監督）
佐々木 逸 郎	（劇作家）
小笠原 克	（藤女子大学教授・国文学）